

「地場産業への気候変動影響調査～足下から学ぶ SDGs の取組～」

令和5年度調査メンバー 募集要項

1 趣旨

信州環境カレッジ事務局と信州気候変動適応センター（長野県環境部環境政策課、長野県環境保全研究所）では、地場産業への気候変動影響調査に関する事業を実施します。この事業は、高校生に自分たちの住む身近な地域の地場産業（伝統工芸品や漬物、発酵食品など）をテーマとして、その産業への気候変動影響（原材料の生産量や出荷時期の変化、発酵過程への影響など）をインタビュー調査していただくというものです。

このインタビュー調査に協力してくださる方を募集しますので、気候変動に関心のある方や地域の地場産業を知りたいという方は、ぜひ応募してください。

2 進め方

・調査ワークショップ

6月末から9月頃（7月以降（夏休み明けの開始でもOK））

気候変動の基礎知識の学習、地場産業の調査、インタビューを実施。

調査対象例：地元で生産、加工する食品（漬物、発酵食品等）、

地元の伝統食材（食品）（そば、わさび、鯉、昆虫食等）、

工芸品（竹細工、漆器等）、観光産業（スキー、川下り等）

以下、進め方例（授業3コマ+実地調査を想定）

1 コマ目：本プログラム説明、気候変動に関する基礎知識の学習

2 コマ目：調査する地場産業の選定、下調べ

3 コマ目：地場産業への影響の仮説検討、インタビューの準備

実地調査：企業訪問、インタビューによる聞き取り、インタビューを動画に撮影

まとめ：調査結果の整理、事後調査

※なお、調査ワークショップについては、各校と相談しながら進めます。

・調査成果発表会

10/21（土）、長野市内及び中南信地域の2会場での同時開催を予定

3 募集単位

高校生のグループ

※探究学習として、また、部活動、クラス単位など幅広くご参加ください。

4 参加費

なし。ただし、各プログラム参加にかかる交通費や通信費等は、自己負担となります。

5 募集期限

令和5年7月7日（金）

※ 7月初旬の開始が可能です。早めのご応募、ご相談をお願いいたします。

また、期限後に応募する場合には予めご相談ください。

6 応募方法

【様式】「申込書」に必要事項を記入の上、電子メールで信州環境カレッジ事務局（長野県環境保全協会）あてに送信

提出先アドレス：shinshu-ecollege@nace-portal.jp

メール件名：「地場産業調査メンバー申込」

7 問合せ先

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

信州環境カレッジ事務局

【電話：026-237-6620 電子メール：shinshu-ecollege@nace-portal.jp】

8 その他

ワークショップの様子や調査結果などは、くらしふと信州ウェブサイトなどに掲載させていただきます。

「くらしふと信州」とは？

長野県が立ち上げた「ゼロカーボン社会共創プラットフォーム」の愛称。

“くらしふと信州”に込めた想い

足元の「暮らし」を「ふと」立ち止まって見つめ直し
心地よさや心の豊かさを感じられる、自然と調和した美しい
暮らしへの「シフト」をうながす

分野と世代を超えた様々なひとたちの共創によって
各地域の自然・文化的資源を再発見・再編集し、
地域の「くらしふと」を進めていく



■ 2つの高みに果敢にチャレンジします

チャレンジ1 温室効果ガス正味排出量を2030年に6割減、2050年にゼロへと削減

チャレンジ2 産・学・官、その他あらゆる主体の相互に対等な共創の実現



まずはWEBサイトをチェック！

くらしふとへの参加方法、県内各地の実践者の取組やイベント情報を発信しています

